

2017 武蔵義塾 小学カレンダー 【12月】

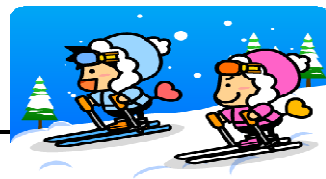
主な催し ☆ “17、Just Do It!!” 冬期講習会 入塾生キャンペーン実施中! ~12/16(土)

○ 「2018, 冬期講習」12/25(月)~ 18年 1/7(日)まで10日間 開講。

「17 冬期講習会」詳細は12月上旬に発送させていただきます。

○ 12/23(土)は、天皇誕生日のため祝日休講です。

○ いつでも、教育に関するご相談に応じておりますので、お気軽に御電話下さい。



日	曜	行事
1	金	新入生 5000円割引キャンペーン開始(~12/16(土)まで)
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	12月分月謝再引落日
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	「2017 冬期講習会」通塾日変更提出締め切り日
17	日	入塾生 5000円割引キャンペーン最終日
18	月	シャトル便(月謝袋)配布開始
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	小学校 2学期終業式
23	土	天皇誕生日 (休日)
24	日	
25	月	「2017冬期講習 Just Do It!!」開講 12/25(月)~ 1/7(日)
26	火	H18 1月分 月謝引落日
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	年末年始休講(12/31~1/3) 「2018 良いお年をお迎えください。」



毎日15分で計算力アップ

返ってきた解答用紙を分析しながら、せっかく難しい問題の解き方が分かり、式は合っているのにケアレスミスで点数を落としてしまい、もったいないと思うことが良くあります。小学生のお母さん方からは、「算数力アップの方法を教えてください」とよく相談されます。当塾でお配りしている「毎日の計算トレーニング」でも、市販されている計算問題集でも結構です。一日1ページ(10~15分程度)を毎日勉強していきます。計算問題の演習は、本格的な勉強の前のウォーミングアップと位置付けましょう。また、計算問題演習を行なう際は、時間を意識することも大切です。毎日計算演習をすることで、徐々にスピードが上がってくるはずで、それと、「ミスをなくするにはどうしたらよいか…」と常に考えながら計算してみましょう! 必ず良くなってきますよ。 詳細は 048-447-0278 斉藤 まで

2017 武蔵義塾 カレンダー 【12月】

今月の主な催し ☆ “17、Just Do It !!” 冬期講習会入塾生キャンペーン実施中！～12/16(土)

○ 「2017 冬期講習」12/25(月)～18年1/7(日)迄10日間開講。

「17 冬期講習会」詳細は12月上旬に発送させていただきます。

○ 第7回 北辰会場テスト 12/3(日) 中3生。過去問対策 12/1(金) 実施予定。

○ いつでも、教育・入試に関するご相談に応じておりますので、お気軽に御電話下さい。



日	曜	行事
1	金	蔵1・2中 中1～2年生 期末テスト 北辰模試過去問実施予定(中3生)
2	土	12/2(土)～12/16(土) 新入生 5000円割引キャンペーン開始
3	日	第7回 北辰会場テスト がんばれ！受験生！
4	月	
5	火	12月分 月謝再引落日
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	「2017 冬期講習」通塾日変更提出締め切り日
17	日	入塾生 5000円割引キャンペーン最終日
18	月	シャトル便(月謝袋)配布開始
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	中学校2学期 終業式
23	土	天皇誕生日(休日)
24	日	
25	月	「2017 冬期講習 Just Do It !!」開講 12/25(月)～1/7(日)
26	火	18年 1月分 月謝引落日
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	年末年始休講(12/31～1/3) 「2018 良いお年をお迎えください。」



小学校では好きな英語、中学で苦手になるのはなぜ？

文部科学省は、英語教育の充実を進めており、学習指導要領では小学校高学年に週一時間の(外国語活動)を実施しています。現状、小学校では7割以上が英語を好きなのに対し、中2になると約5割にまで減少、しかも約3割が英語嫌いになっているということです。中学校の英語嫌いを増やしている原因として、英語の「読む・書く」という学習が、小学校から中学校の間でうまく繋がっていないことが挙げられます。小学校の外国語活動では英語になれることに重点を置き、「話す・聞く」を中心に行なわれているからです。英語の「話す・書く・話す・聞く」の4技能を、小学校でいかにバランスよく指導し、中学校でどう伸ばしていけるのかが、今後の英語教育の大きな課題といえるでしょう。

詳細は 048-447-0278 斉藤 まで

